

埼玉摂食研究第18号

平成21年5月25日

賛助会員 各位

埼玉県摂食・嚥下研究会



埼玉県摂食・嚥下研究会だよりの送付及び
埼玉県摂食・嚥下研究会講演会の開催について（依頼）

日ごろから本研究会の運営に御支援、御協力をいただき感謝申し上げます。
埼玉県摂食・嚥下研究会だよりV.1.12ができあがりしましたので、御送付
申し上げます。

また、標記講演会を下記のとおり開催いたしますので、出席される場合は、
別紙「摂食・嚥下だより12号4ページ講演会案内」により7月6日（月）ま
でFAXでお申し込みください。

なお、非会員の方は資料作成代として、2,000円を負担していただきます
ので、御了解ください。

記

- 1 日 時 平成21年7月12日（日）講演会 13時～16時
- 2 場 所 彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール
さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65
- 3 講演会（13:00～16:00）
講師 横浜市立大学附属市民総合医療センター
リハビリテーション科 若林 秀隆（医師）

演題 「症例から考える摂食・嚥下機能の評価と胃瘻^{いろいろ}の適応」
- 4 その他 資料作成代として2,000円を負担いただきます。

埼玉県摂食・嚥下研究会事務局 前田

電話048（829）2323

FAX048（829）2376

埼玉県摂食・嚥下研究会

第9回 講演会

日時：平成21年7月12日(日) 13:00～16:00

場所：彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール

今回は、横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科の医師、若林秀隆先生をお招きして、初級～中級程度の模擬症例を基に、講師の若林先生と参加者同士で評価や方針についてのディスカッションを行います。また実習では、一口ゼリーを使用したフードテストや、唾液嚥下テストを実施する予定ですので、是非ご参加ください。

講演内容

演題：

「症例から考える
摂食・嚥下機能の評価と胃瘻の適応」
いろいろ

講師：

横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科

若林 秀隆先生

(症例)

元来元気であった92歳男性。自宅で転倒し右大腿骨頸部骨折受傷。人工骨頭置換術後に誤嚥性肺炎となりしばらく禁食。その後、リハビリを行ったが車椅子移乗レベルまでしか改善せず自宅退院は困難で老健に入所。入所後さらに摂食嚥下機能が低下。大腿部と下腿は骨が容易に触れるようになり、仙骨部に褥瘡を認めた。今のうちに何かできることはないのだろうか。急いで胃瘻を造設している病院に相談しておいた方がよいのだろうか。胃瘻を造設してしまったら、もう口から食べられないのだろうか。

■定員：300名

■参加費：会員/ 無料
非会員/ 2,000円(資料作成代等)

■申込締切日：7月6日(月)

主催：埼玉県摂食・嚥下研究会

問合せ：埼玉県歯科医師会事務局 TEL 048-829-2323

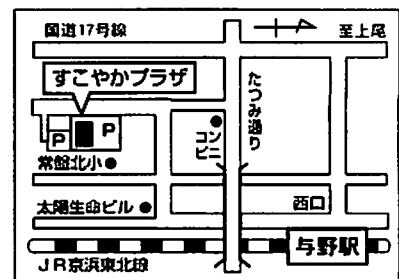
埼玉県摂食・嚥下研究会 第5回総会

日時：7月12日(日) 11:30～12:00

場所：すこやかプラザ2階研修室2・3

第5回総会議決事項

- 第1号議案 平成20年度事業報告の承認に関する件
- 第2号議案 平成20年度収支決算の承認に関する件
- 第3号議案 平成21年度事業計画の承認に関する件
- 第4号議案 平成21年度収支予算の承認に関する件



参加申込書 埼玉県摂食・嚥下研究会(会員・非会員)※どちらかに○を付けてください

フリガナ		職 種	
氏 名			
住 所 (勤務先)	〒 -	電 話	
		F A X	

申込書 FAX先 048-829-2376